

国際自動車コンプレックス研究会 第12年次 活動概要 (2009.10~2010.9)

本年度は、①交流活動、②事業活動、③広報活動を行った。概要は、以下の通りである。

① 交流活動

研究会会員への情報提供、会員相互の情報交換の場として、第11年次報告総会、第31回研究交流会、第32回研究交流会を実施した。具体的には、総会では経済変化や環境重視の中で変化し続ける自動車企業の動向と展望について講演を行った。31回研究交流会では、三河港の産業基地・明海地区の事業継続計画（BCP）について講演を行った。第32回研究交流会は、アジアの自動車産業の動向についての講演を行った。

表 総会・研究交流会の内容一覧

第11年次報告総会 2010.1.27 名豊ビル 参加者：74名	記念講演	「自動車企業の国際動向と展望」 株式会社フォーイン 副社長 久保鉄男 氏
自動車部品工業の生産構造と次世代型自動車出現の経済効果に関する講演会 2009.12.11 豊橋市民センター 参加者：35名	講演1	「次世代型自動車出現がもたらす経済効果」 豊橋技術科学大学 人文・社会学系准教授 洪澤博幸 氏
	講演2	「日本における自動車部品工業の生産構造」 愛知大学 経済学部准教授 打田委千弘 氏
第31回研究交流会 2010.8.5 豊橋市民センター 参加者：84名	講演1	「明海地区の成立と地区特性」 三河湾明海地区産業基地運営自治会 事務局長 増山一二三 氏 (株式会社総合開発機構 取締役 明海事業所長)
	講演2	「明海地区の事業継続計画（BCP）」 明海地区産業基地防災連絡協議会 会長 浅田康裕 氏 (株式会社デンソー 豊橋製作所長)
第32回研究交流会 2010.11.15 名豊ビル 参加者：63名	講演1	「中国の自動車産業の動向と日本・アジアの関係」 愛知大学 経済学部教授 李 春利 氏
	講演2	「トヨタとヒュンダイーアジア2強の課題」 愛知大学 経済学部教授 李 泰王 氏

研究交流会と同様に、視察会を行った。新東名高速道路において進捗の著しい愛知県内の建設現場である鳳来トンネルと本宮山トンネルの視察を4月に行った。9月には、トヨタ自動車工場見学会としてトヨタ鞍ヶ池記念館、元町工場、トヨタ会館の視察を行った。

表 視察会の内容一覧

視察会1 2010.4.21 参加者：43名	訪問先	新東名高速道路建設現場 ・鳳来トンネル ・本宮山トンネル
視察会2 2010.9.8 参加者：28名	訪問先	・トヨタ鞍ヶ池記念館 ・元町工場 ・トヨタ会館

② 事業活動

三河港地域の活性化を図るとともに、全国各地から輸入自動車愛好家の誘致や自動車文化の発信を行うことで、自動車メーカーのホームタウンである三河港地域を広くPRし、自動車のホームタウンづくり事業に協力した。

また、継続的な事業であるエコカーレースの事業展開に協力した。

③ 広報活動

ニューズレターを3回発行し、国内関係機関への情報提供を行った。

また、国外、国内地域からの港湾視察に対応して、地域状況、計画内容、研究会活動などの説明を行った。